

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【公開番号】特開 2009-262446 (P2009-262446A)

【公開日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2009-045

【出願番号】特願 2008-116107 (P2008-116107)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 28 日 (2011.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

側面に開口部を設けた容器と、
前記容器内の領域の一部に配置され、前記開口部に挿入された廃液排出部から排出された廃液を受ける吸収材と、を備える廃液回収ユニットであって、
前記開口部を有する側面は、液体噴射装置から取り外しの際に下方を向き、
前記容器内の領域における他の一部であって、前記開口部と前記吸収材との間に、前記吸収材に吸収される前記廃液の密度よりも高い密度で前記廃液を貯留可能な貯留領域を備える廃液回収ユニット。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の廃液回収ユニットであって、
前記容器は、取り付け部に固定するためのストッパを前記容器の下面に有し、
前記側面は、前記ストッパによる前記取り付け部との固定状態を解いた際に下方を向く、
廃液回収ユニット。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の廃液回収ユニットであって、
前記貯留領域の幅は、
前記容器における前記吸収材が配置される部分の幅よりも狭い、
廃液回収ユニット。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の廃液回収ユニットであって、
前記貯留領域は空間部である、
廃液回収ユニット。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の廃液回収ユニットであって、
前記貯留領域に配置され、前記吸収材よりも密度の小さく、
前記廃液を保持可能な廃液保持部材を有する、
廃液回収ユニット。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の廃液回収ユニットであって、
前記貯留領域に配置された状態において、前記吸収材と対向する対向面が前記吸収材から離隔され、前記廃液を保持可能な前記廃液保持部材を有する廃液回収ユニット。